

【背景・目的】

織物の欠点となる「たて筋・よこ段」の発生は、本場結城紬織物生産者にとって以前から大きな問題となっています。そこで、その発生原因についての検証を行い、生産工程における問題点の把握及び軽減策について検討を実施しています。

【内容・結果】

◆現状調査の実施



〔原料、糸〕
・真綿は複数の繭から形成されるが、各繭が混在することなく糸になるため、他の糸に比べて色差が生じやすい。



〔染色工程〕
・紺糸と地糸は染色工程が異なるため、色差 (ΔE^*ab 1.0 ~ 3.5 程度) が発生する。

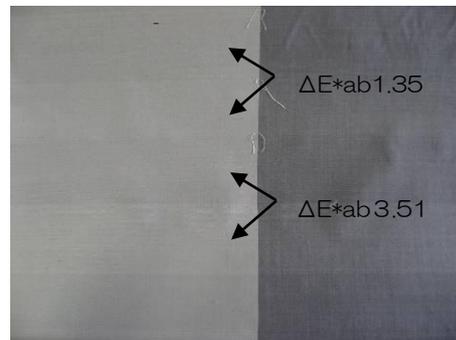


〔織度・密度〕
・一反の反物内での糸の織度差は $\pm 20 \sim 30$ d 程度。
・密度の変化により、たて糸・よこ糸の色が影響。

たて筋・よこ段の発生につながる主な要因

◆よこ段発生状況の基準サンプルの作製

よこ段発生要因の一つである、各工程で生じる糸の色差が織物に与える影響について、織物サンプルを作製し、よこ段発生状況の検証を実施しました。



- ・意図的に色差を付けた染色糸を作製。
- ・よこ糸の織り込み方法を変えることで、 ΔE^*ab 3.0 前後の色差を ΔE^*ab 1.0 前後に軽減できることを確認。
- ・ただし、色差値で軽減が確認されても、目視確認によってはよこ段と認識される場合もあることから、製造時に目安となる色差の許容範囲について検討を重ねる必要がある。

【今後の計画】

たて筋に関する要因についても検討を実施し、本場結城紬生産者を対象とした技術講習会等の開催によって、産地織物の品質向上の支援を実施していく予定です。

| | | | |
|----------|--------------------|-----------|--------------------|
| 基礎となった事業 | 平成20年度 試験研究指導費（標準） | | |
| 担当部門 | 紬技術部門 | 所長兼紬技術部門長 | 望月 政夫 |
| | | 主任 | 本庄 恵美 |
| | | 主任 | 中野 睦子 |
| | | | TEL : 0296-33-4154 |